

12. 知的障害者と小学生を対象とした科学体験 フェスティバルの実施

水野貴之 徳島文理大学 理工学部 レインボーの会

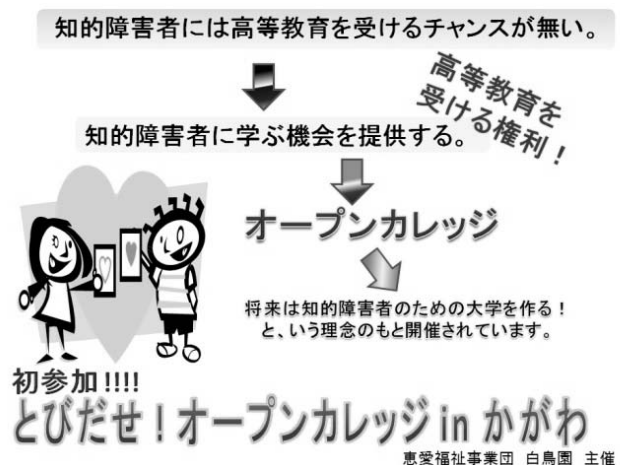
1. はじめに

2004年6月に、工学部（現在理工学部）ナノ物質工学科の学生を中心としてボランティアサークル「レインボーの会」を設立しました。すべての人に学ぶ機会を与えるお手伝いをする、特に知的障害のある方や、その家族を対象の中心として設立した会でしたが、活動の範囲を小学生や一般の人にまで広げて活動する。あるいは、理工学部（工学部）体験教育支援センターとしての活動や地域産業との連携など多岐にわたる活動を行うようになりました。設立当初から参加していた学生たちも、卒業し就職しました。卒業してからも、レインボーの会の活動に参加してくれる人もたくさんいます。そこで、教員、職員、卒業生を中心に、さぬき市のボランティアネットワークに参加し、さぬき市を中心に、隣接する東かがわ市などにも活動範囲を広げています。今回は、サラリーマン助成を受け、卒業生を中心として、行った事例の報告をさせていただきます。



2. 「オープンカレッジ」への参加

レインボーの会では社会福祉法人 恵愛福祉事業団白鳥園が主催する「とびだせ オープンカレッジ in かがわ」に参加し、サポーターや講師として運営に協力しています。近年、生涯学習、生涯教育が盛んとなり多くの方が高校や大学を卒業した後も市民講座や老人大学、カルチャーセンターなどで様々な教育を受ける機会が提供されてますが、知的障害者の場合は養護学校卒業後、ほとんど学ぶ機会がないのが現状である。『オープンカレッジ』は、知的障害者を対象とした高等教育を体験する機会を与える場です。レインボーの会のメンバーは、知的に障害を持つ人がオープンカレッジで学ぶサポートをすること、そして、様々な科学教室、季節に合わせた工夫を凝らしておこなっています。



3. 「科学体験フェスティバル」の開催

レインボーの会の構成メンバーは、工学部卒業生が多いことから、これを生かし、みんなの科学体験フェスティバルを企画、開催してきました。ここでの特徴は、レインボーにちなんだそれぞれ違う色のジャンパーを着ている点です。この結果、名前は覚えなくても、色で指示をすることができるようになりました。今回は、10/16日、10/17日の二日間、徳島文理した。開催は、さぬき市志度地区ボランティアネットワーク リングリングとの共同で、他のボランティア団体の

各講義内容



表面張力のお勉強
～巨大シャボン玉を作る～



こおる！凍る！瞬間冷凍の不思議
～液体窒素で実験～



パンを作ろう 酵母ってなに



高分子ゲルを学ぼう
～レインボースライム作り～



皆と楽しく!!!



物の固まり方を学ぼう
～チョコレートフォンデュに挑戦～



酵素の働きでロケット発射



小さな世界を見てみよう

の活動報告や紙芝居や朗読、踊りや人形劇などの実演と科学教室を同時に行いました。科学教室には、日頃訪問している知的障害者のための施設や地元の小学生など多くの方が参加してくれました。我々の課題の1つは、知的障害者と小学生を科学でつなぐという点にあります。障害の度合いにもよりますが、多くの場合、障害を持つ大人と、小学生低学年の子供は、思考のパターンが似ており、一緒に参加すると、相乗効果が生じます。素直に没頭する大人と子供の姿は見ていて微笑ましいものです。我々の、仕事は、活動の場所を作ることと、少しだけ困ったことが起こりそうな時にだけ、そっと手を差し伸べる事だと思っています。

リングリング活動報告会 & 科学体験フェスティバル

志度地区ボランティアネットワーク（愛称:リング・リング）は、志度地区を中心にさぬき市、香川県と広くボランティア活動をしています。今回は、日ごろのグループの活動を広く知ってもらうために、「杏樹祭」で活動報告会を開催します。

10/16(土)・17(日)
午前11時～午後3時

朗読（実演 16日午前）

紙芝居（実演 16日12時すぎ）

紙芝居（実演 16日1時半前後）

紙芝居（実演 1時半前後）

手話（ビデオ放映）

科学教室（全日）

その他のいろいろ
掲示や景品もあるよ

子供！家族づれ！障害のある人も大歓迎！

志度地区ボランティアネットワーク
（リング・リング）参加グループ
朗読グループどんぐり・踊っていきいき会
手話サークル杏会・カンガルーランド
おはなしボランティア野の花・レインボーの会
志度婦人会福祉ボランティア・庭木奉仕団

理工学部
十/棟1階



4. さぬき市 ボランティア祭 「みんな DE みんなのぼらんていあ祭」参加

さぬき市ボランティアネットワーク会員として水野が参加している関係で、「みんな DE みんなのぼらんていあ祭」の開催にあたり、企画や運営に携わりました。さぬき市では、66団体がボランティア活動を行っています。合併してさぬき市になる前の旧五町が個別に福祉祭りを開催しています。今回は、旧町の枠を超え、団体や世代の枠を超えた「つながり」を持つ場としてボランティア祭りが企画



されました。本会からは、水野貴之（理工学部講師）と卒業生の筒井絵里（ナノ物質工学科大学院卒）が実行委員会として企画から参加しておりました。若い人の意見の多くに「ボランティア」という言葉が重い！という意見は良く聞かれました。そこで、本来書くべき表記を ボランティア からひらがなに変え『みんな DE みんなの“ぼらんていあ”まつり』となりました。

全体会では、ボランティア活動報告会を開催し、レインボーの会のメンバーも発表をおこないました。各ボランティア団体の活動体験コーナーでは、点字や車いす体験など多くの団体にご協力いただきました。レインボーの会では、学生中心に七色の団子試食会、卒業生を中心に科学教室を開催しました。



5. さぬき源内ふるさとまつりへの参加

平成22年3月20日（土）～22日（月）の3日間、さぬき源内ふるさとまつりが「平賀源内記念館」1周年を記念し盛大に開催されました。徳島文理大学では4年前より本格的に参加し、特に子どもたちへのイベントを開催しています。前回より、水野貴之が実行委員として参加しており、22日には「徳島文理大学出張キャンパス」と銘打って源内記念館駐車場内にて出展しました。この中では、科学体験コーナーを実施し、「簡単なロボットをつくってみよう！！」、「顕微鏡で小さな生物を観察しよう！！」、「水質キットをつくろう！！」の科学教室、「ペーパージャイロをつくろう！！」、「綿飴製造器を作ろう」、「焼だんごに挑戦しよう」の工作体験などを開催しました。その他にも、「大学紹介コーナー」、「茶道部源内茶会」、地産品の利用提案としてレインボーの会（学生）より「烏骨鶏の卵とジャージー牛乳、和三盆で作った特製プリン（試食）」、「烏骨鶏の焼き鳥（試食）」、「烏骨鶏で作ったマシュマロ（試食）」の出展を行いました。科学と食、そして、カラフルな色、というのも我々のテーマの1つです。子どもたちは、ロボットの組み立てやペーパージャイロの作成、綿飴製造器の作成



などをおして、ものづくりのおもしろさを体験してくれました。さぬき源内ふるさとまつりでは、多彩な平賀源内の功績にちなみ、金唐革の細工を和紙に取り入れたことにちなんだ「金唐革紙展」や西洋画家としても名を残したことにちなんだ「路上をお絵かきコーナー」、「伝承遊び」や「駄菓子コーナー」など未来を担う子供たちに伝統を受け継ぎ、また新たな未来を創造するという願いの込めら

れたイベントが広く催されています。このような祭りに参加し、協力することで、地域の方々のコミュニケーションを深め、未来を担う人材育成や地域産業の創成など、互いに支え合って成長・発展していく形づくりをしていきたいと思っています。



6. 経費明細使途明細

執行日	使途項目	内容・内訳	金額(円)
20010/3/22	源内祭（科学教室）	モーターその他 ロボット材料 プラスチック容器 生物試料	51,000 円
20010/3/22	源内祭（科学教室）	装飾費用	3,500 円
20010/5/16	ボランティア祭 （科学教室）	スライム材料 ペーパークロマト マジックインキ モーターその他	24,000 円
20010/5/16	ボランティア祭 （科学教室）	装飾費用	2,000 円
2010/3/2	参考資料購入費	本 6 冊	11,813 円
その他	切手（郵送費）		8,000 円
合計			100,313 円